

血液検査でわかる脳梗塞・心筋梗塞の可能性

オススメ
オプション
検査

LOX-index[®]

ロックス・インデックス

脳血管疾患・心疾患の年間死亡者数はがんと同水準
「4人に1人」が動脈硬化を一因とする疾患で亡くなっています。

喫煙

運動
不足

高血圧

肥満

偏食



脳梗塞・心筋梗塞の 将来リスクお調べします!

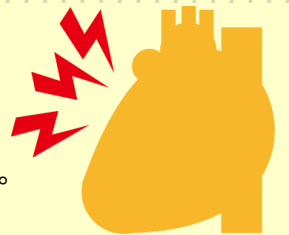
脳梗塞

寝たきりの原因にもなる疾患。
「3人に1人」が死亡か後遺症に



心筋梗塞

突然死の危険のある疾患。
年間「約15万人」が発症。



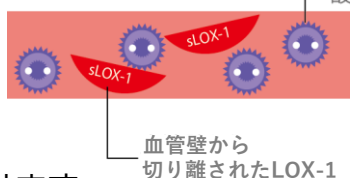
検査の
特徴



検査内容をご確認いただけます

◎ 動脈硬化の原因物質を測定

血液中に隠れている動脈硬化の原因物質の量を調べる



◎ 採血（約2ml）で検査可能

◎ 脳梗塞・心筋梗塞の
将来の発症リスクを予測

検査では血液中の酸化した超悪玉コレステロール【酸化変性LDL】と、それを血管の壁に取り込んで動脈硬化を進ませる【LOX-1】というたんぱく質を測定します。検査によって得た解析データを過去の臨床データと照らし合わせ、動脈硬化の進行から将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度（リスク）を予測いたします。

<検査に関する注意点>

- ※ 妊娠中は受診を控えてください。（妊娠中、出産後3ヶ月以内の方は検査数値が高く出る傾向があります。）
- ※ リウマチ、熱がある場合は、検査数値が高く出る可能性があります。
- ※ 脂質異常症治療薬、抗血小板薬、降圧薬を服用されている方は、検査数値が低く出る可能性があります。